

令和3年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

1 調査の目的

「いわて県民計画(2019~2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- (5) 調査時期 令和3年1~2月(毎年調査)
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画(2019~2028)」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 県民の普段の行動について
 - エ 幸福度について
- (7) 回収者数 3,549人
- (8) 有効回収率 71.0%(3,549人/5,000人)
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,561	(44.0)
女性	1,949	(54.9)
その他	6	(0.2)
不明	33	(0.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	1,011	(28.5)
県南広域振興圏	1,080	(30.4)
沿岸広域振興圏	833	(23.5)
県北広域振興圏	625	(17.6)

【年齢別】	回答者数	割合
18~19歳	53	(1.5)
20~29歳	200	(5.6)
30~39歳	320	(9.0)
40~49歳	499	(14.1)
50~59歳	604	(17.0)
60~69歳	766	(21.6)
70歳以上	1,009	(28.4)
不明	98	(2.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	282	(7.9)
家族従業者	119	(3.4)
会社役員・団体役員	240	(6.8)
常用雇用者	1,025	(28.9)
臨時雇用者	440	(12.4)
学生	68	(1.9)
専業主婦(主夫)	403	(11.4)
無職	775	(21.8)
その他	51	(1.4)
不明	146	(4.1)

()内は%

3 用語の解説

重要度(平均) : 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均) : 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度 : 重要度(平均) - 満足度(平均)

4 その他

本調査結果は、下記の調査統計課ホームページからダウンロードできます。

<http://www2.pref.iwate.jp/~stat>



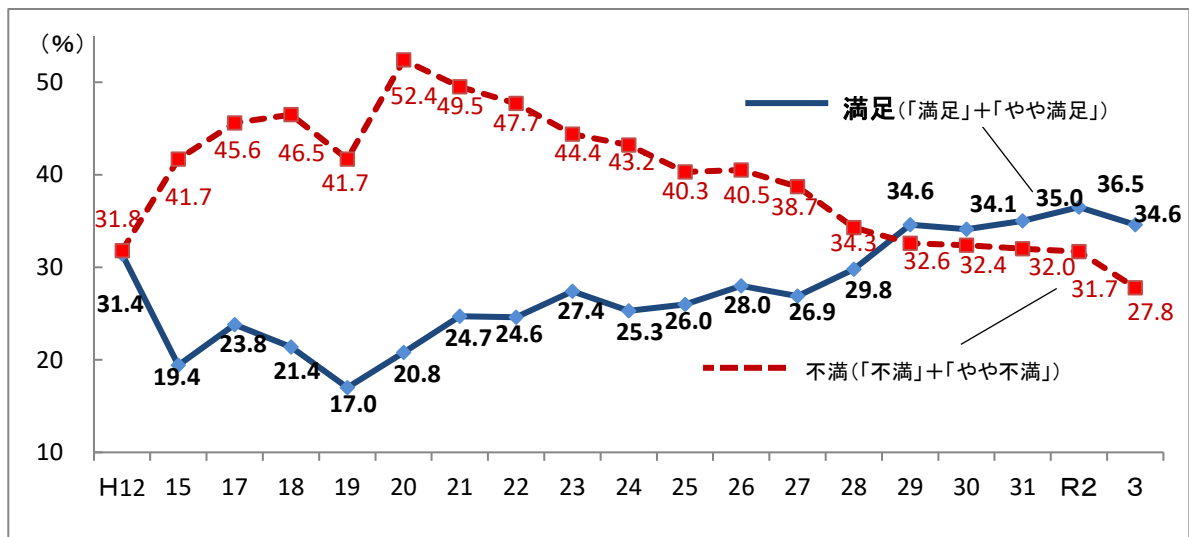
■調査結果の概要■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

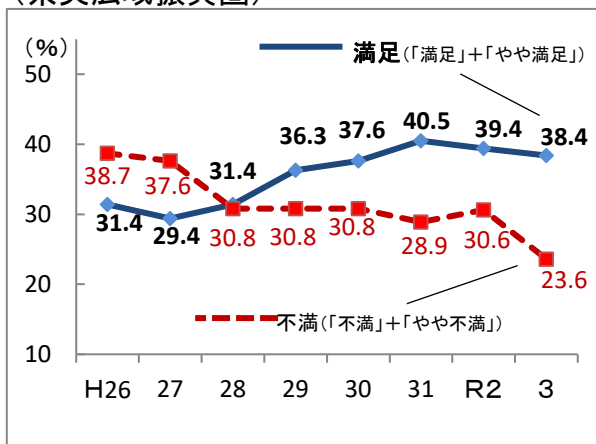
昨年に引続き満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が34.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合は27.8%となっている。
- また、令和2年調査と比較すると、満足の割合は36.5%から1.9ポイント減少し、不満の割合は31.7%から3.9ポイント減少している。
- 広域振興圏別に見ると、満足の割合は、県央及び県南では減少し、沿岸及び県北では増加している。不満の割合は、全ての広域振興圏で減少している。

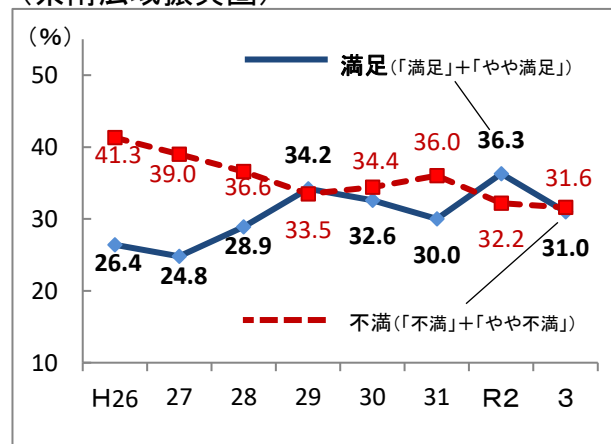
(県計)



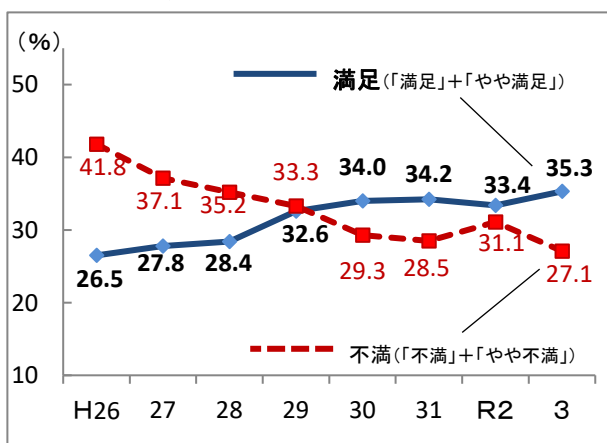
(県央広域振興圏)



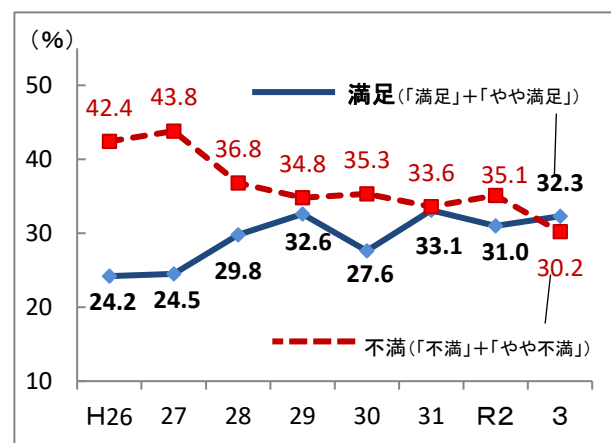
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「感染症に対する備えが整っている社会」、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
1	5	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
2	1	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
3	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
4	3	①	3	適切な医療体制
5	4	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土

重要度が低い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
55	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会
53	51	①	1	身体の健康に関する相談・指導

※ 項目は設問文を要約して記載。

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」となっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
1	3	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
2	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	1	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
4	4	①	3	適切な医療体制
5	5	⑤	29	住民の協力による地域の防災体制づくり

満足度が低い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	55	⑥	35	安定した就職環境
54	52	⑥	38	県内経済の活性化
53	54	④	24	公共交通機関の維持・確保

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「感染症に対する備えが整っている社会」、「農林水産業の担い手確保」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「身体の健康に関する相談・指導」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	14	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
3	2	⑥	42	農林水産業の担い手確保
4	5	③	17	いじめや不登校への適切な対処
5	3	⑥	36	商店街のにぎわい

ニーズ度が低い項目

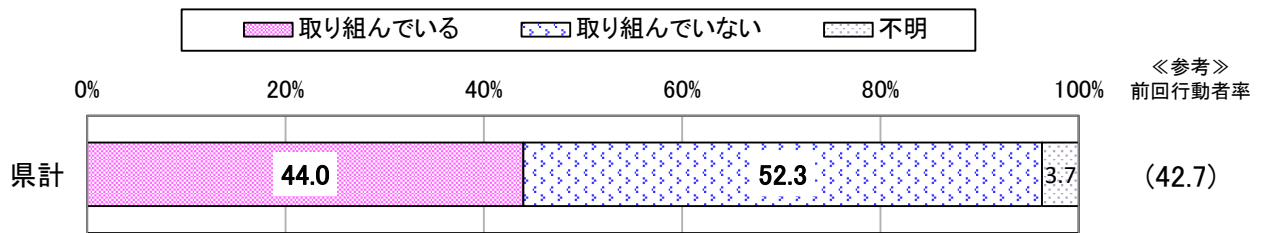
順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導
54	53	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
53	55	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍

10の政策分野

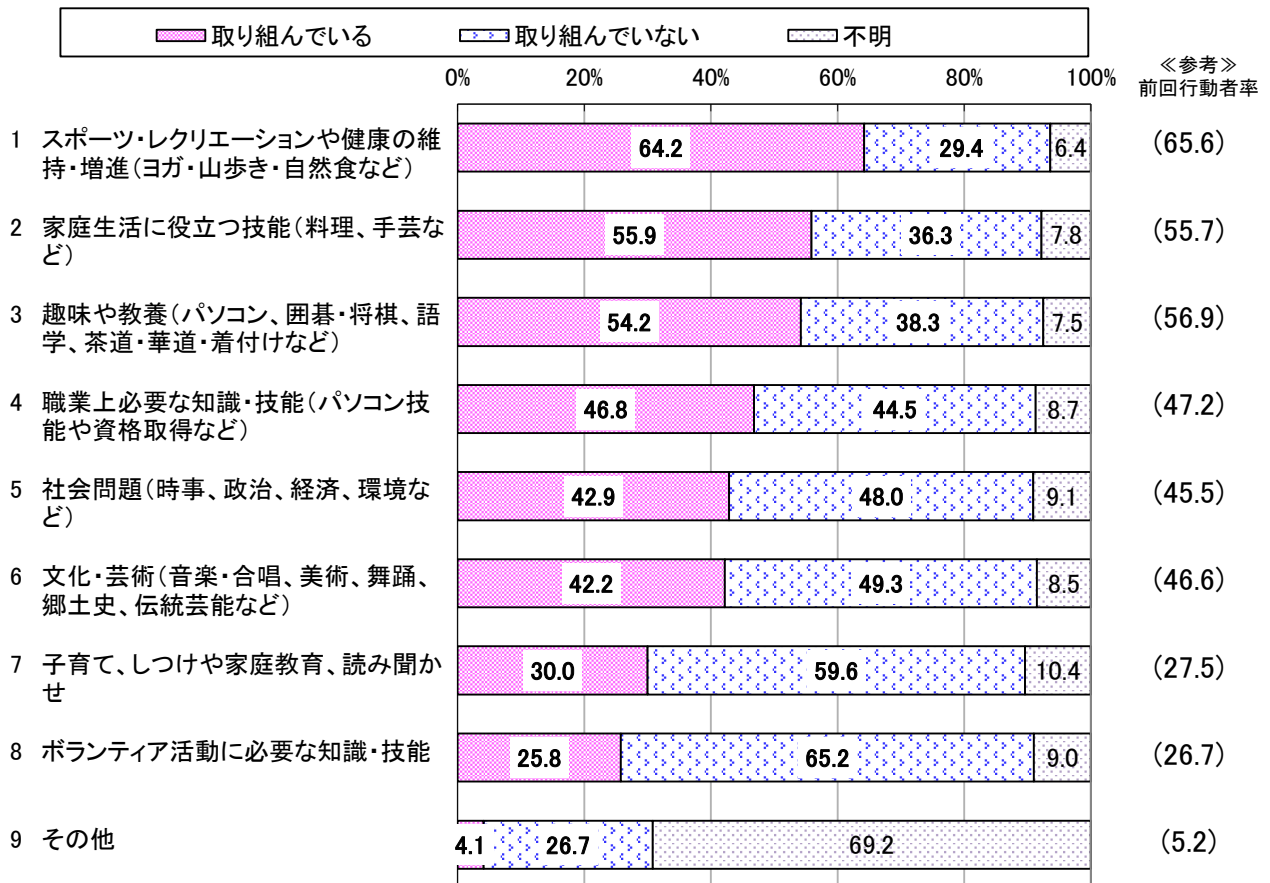
- ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

問3-1 生涯学習に取り組んでいますか。

○ 生涯学習に取り組んでいる人の割合は、各調査項目の平均で44.0%となっている。

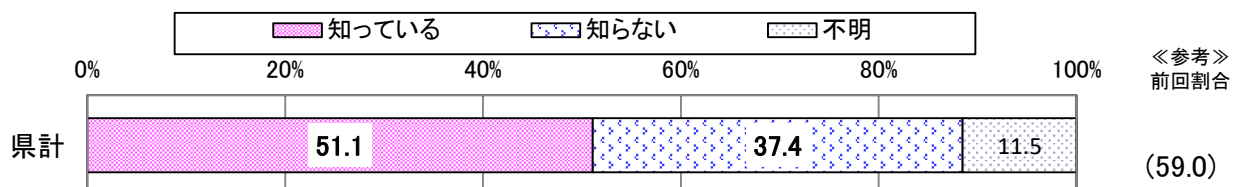


○ 行動の内容は、「スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進(ヨガ・山歩き・自然食など)」が64.2%と最も多く、次いで「家庭生活に役立つ技能(料理、手芸など)」が55.9%、「趣味や教養(パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど)」が54.2%となっている。



問3-2 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

○ 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っている人の割合は51.1%となっている。

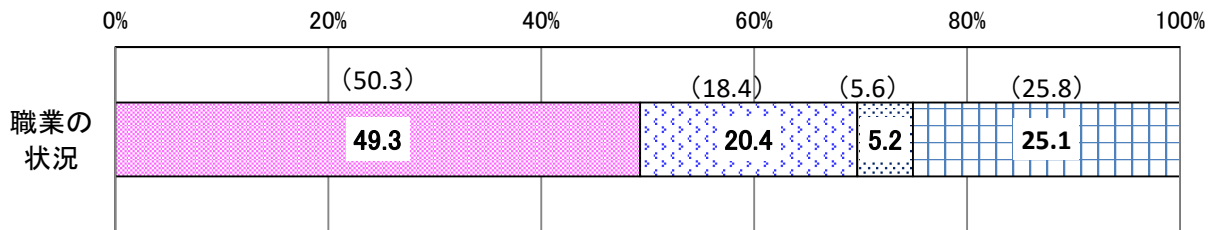


問3-3 生活時間について

【(1)、(2)は夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

○ 夫婦二人とも仕事を持っている世帯の割合は49.3%となっている。

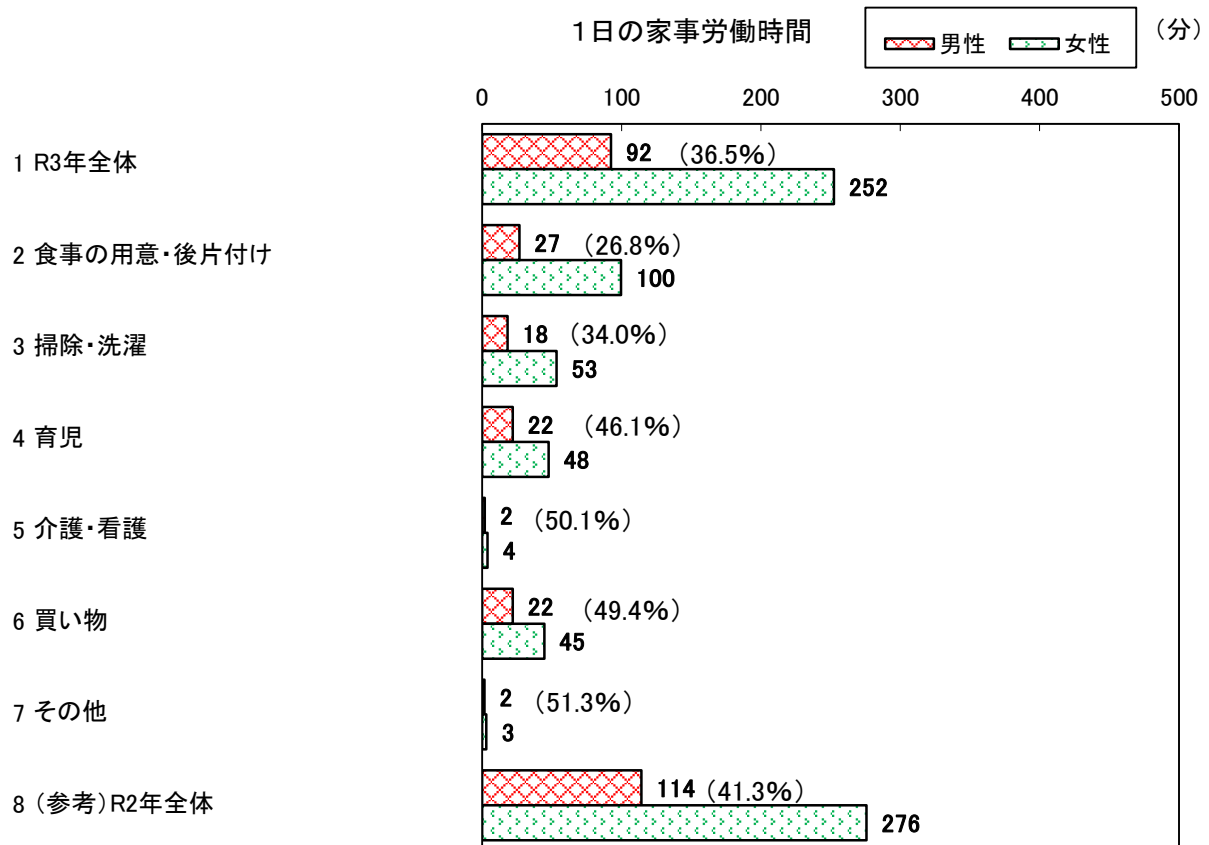


()内は前回数値

(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

【夫婦二人とも仕事を持っている世帯】

○ 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は92分、「妻」の家事労働時間は252分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の36.5%となっている。



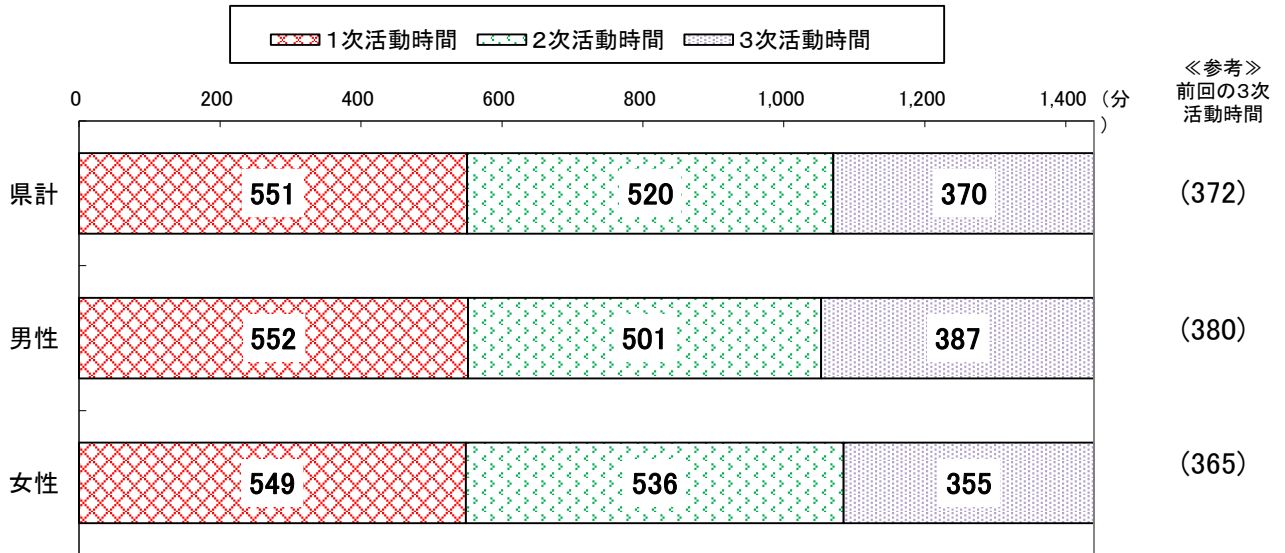
※ ()は、男性の家事時間割合(女性の家事時間に対する割合)。なお、割合は小数点以下第1位を四捨五入した時間数から算出しています。

(3) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

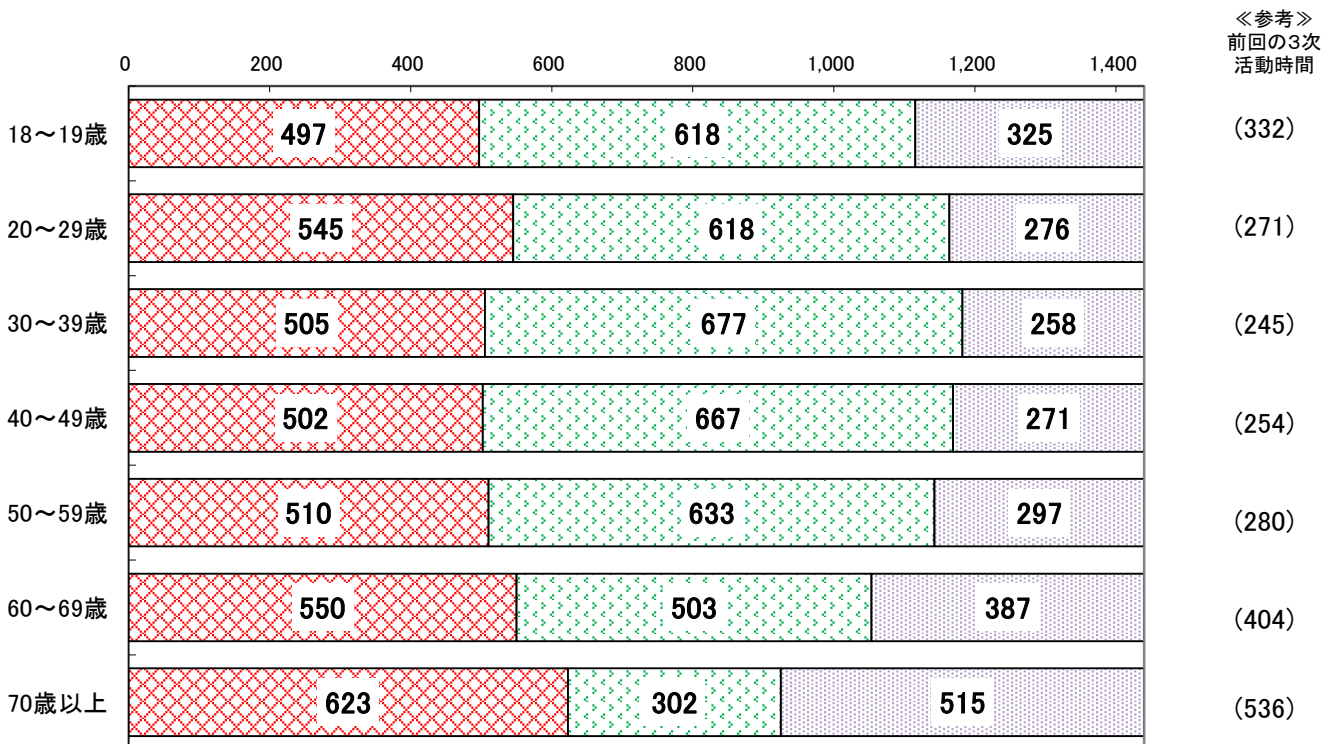
○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が551分(9時間11分)、2次活動時間が520分(8時間40分)、3次活動時間が370分(6時間10分)となっている。

- 〔 1次活動:睡眠、食事など生理的に必要な活動
 2次活動:仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
 3次活動:1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動 〕

ア 県計及び男女別

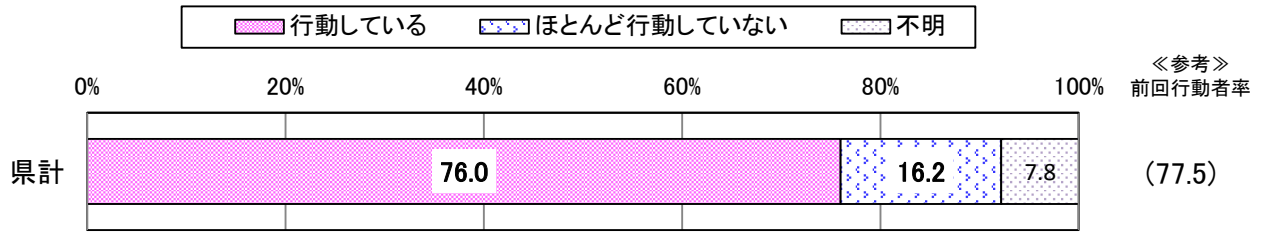


イ 年代別

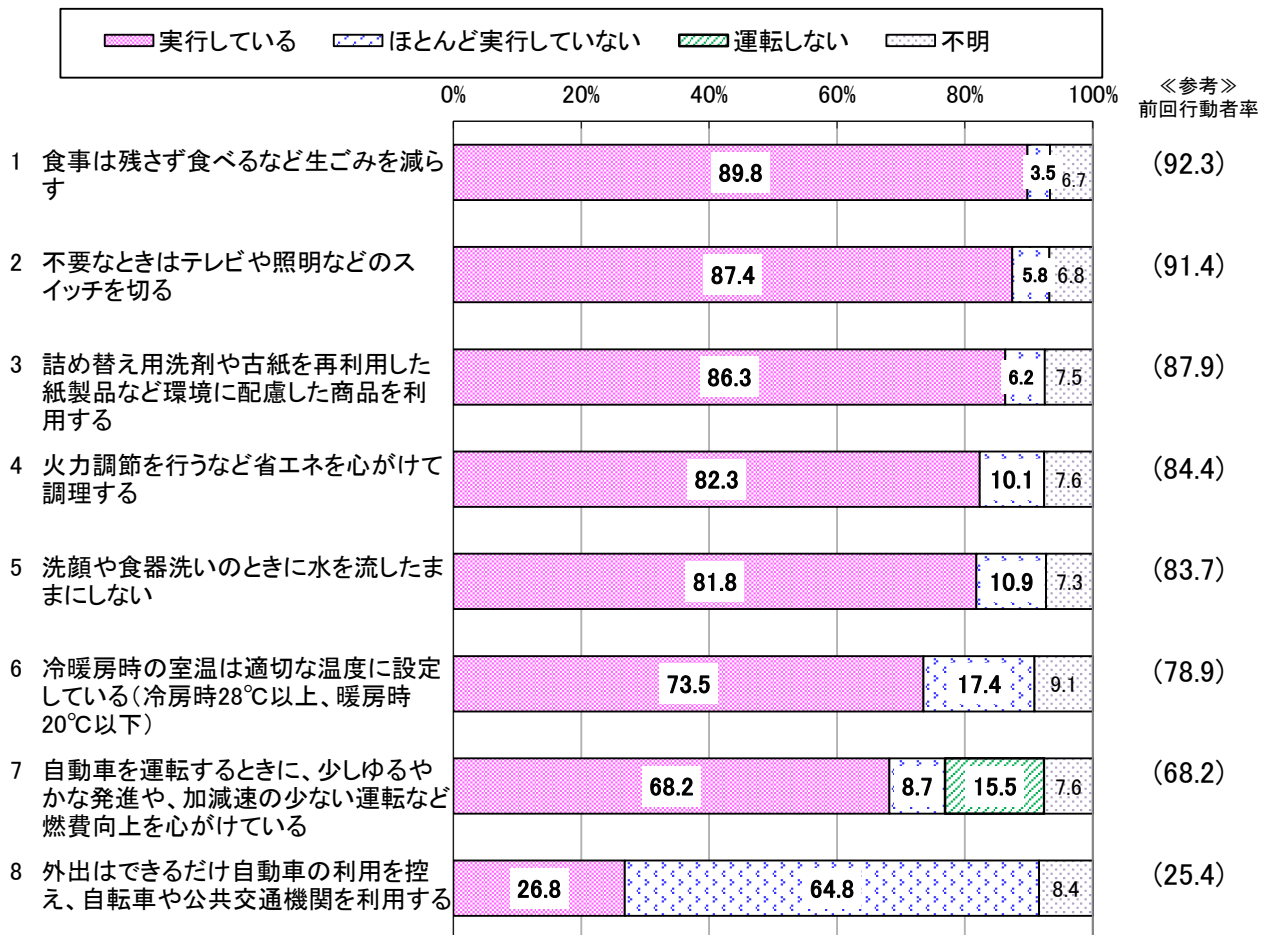


問3-4 地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で76.0%となっている。



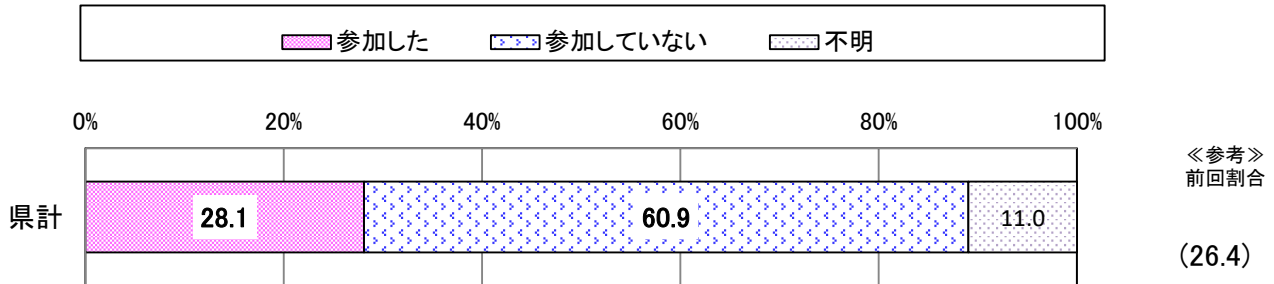
○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなどごみを減らす」が89.8%と最も多く、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」が87.4%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」が86.3%となっている。



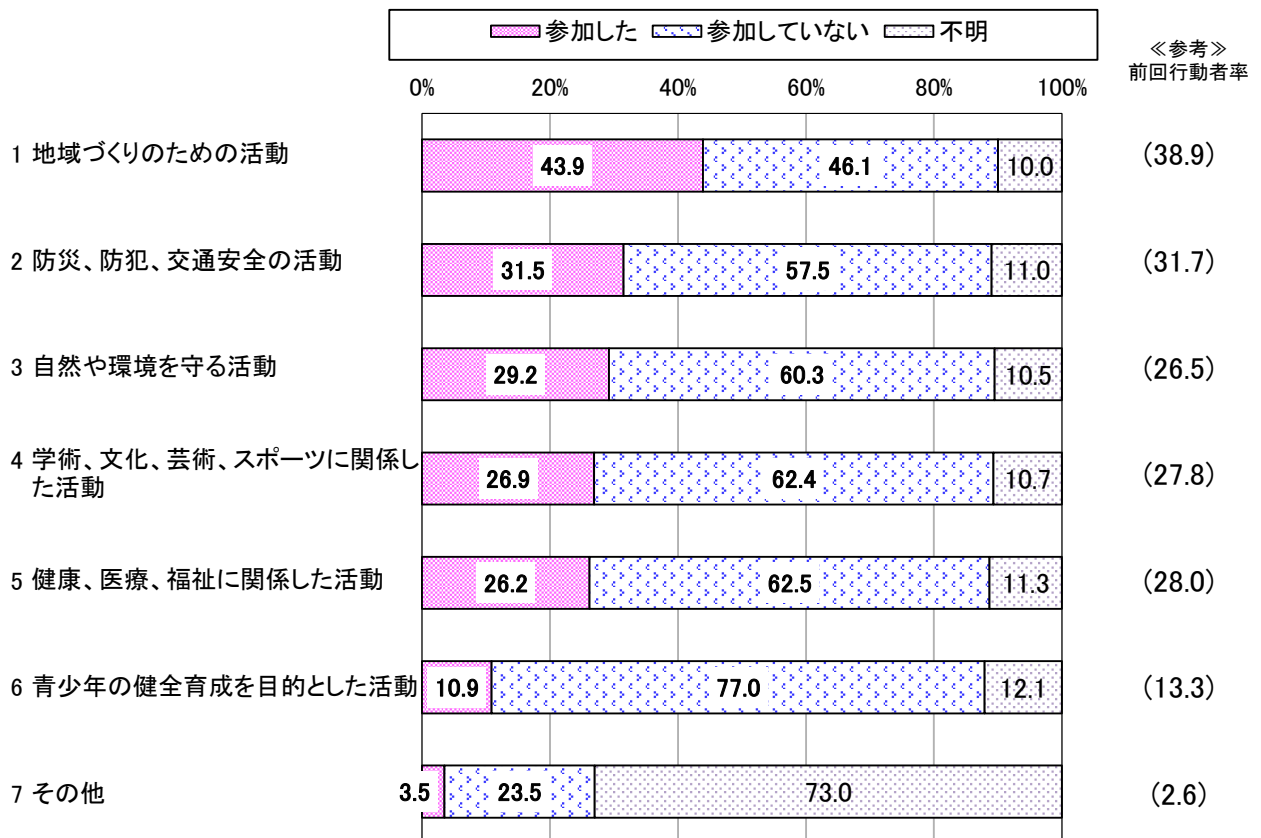
問3-5 過去1年間にどのようなボランティア活動等に参加しましたか。

【65歳以上からの回答】

○ 過去1年間にボランティア活動等に参加したと回答した高齢者の割合は、28.1%となっている。



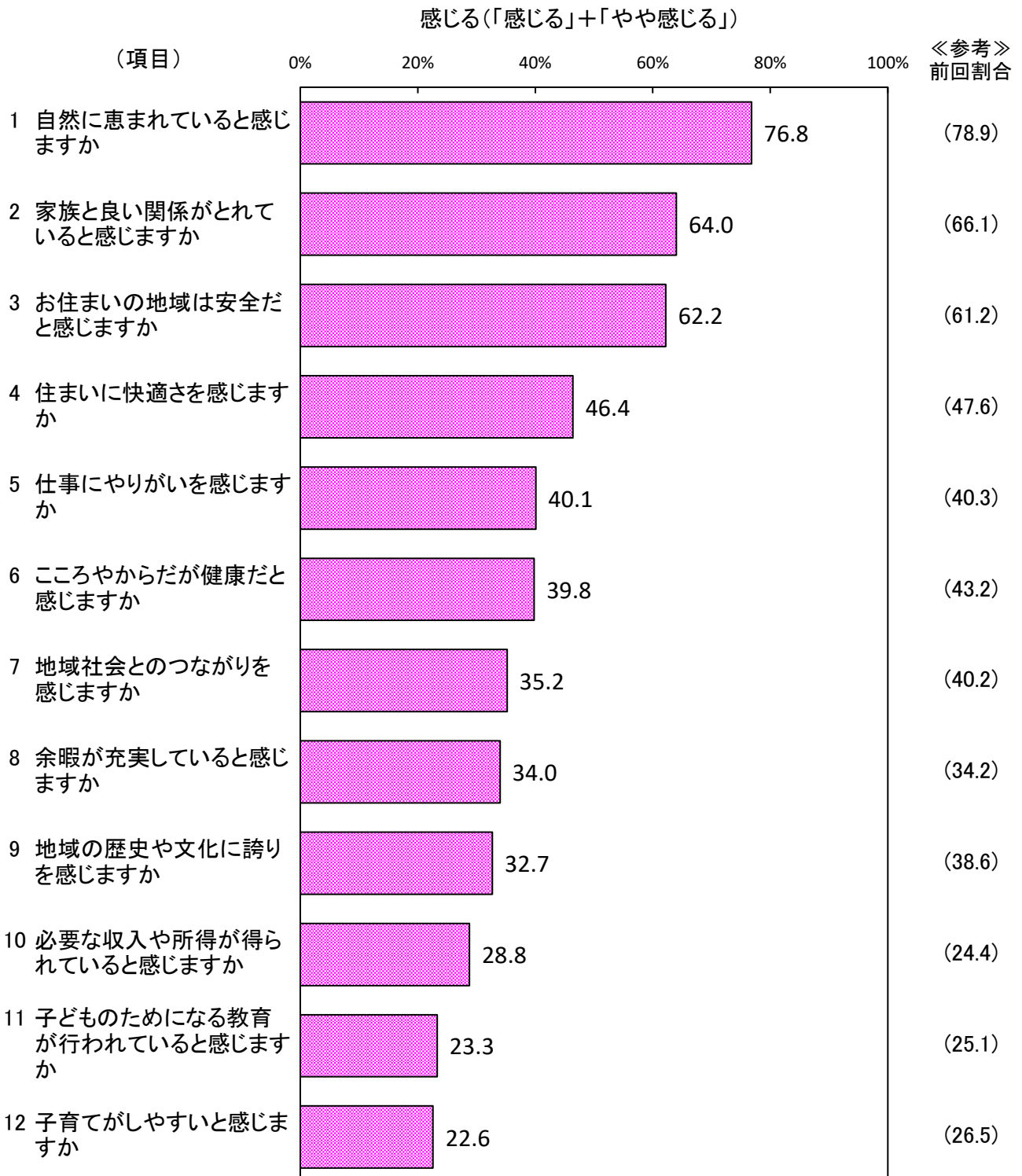
○ ボランティア活動等に参加している高齢者の活動内容は、「地域づくりのための活動」が43.9%と最も高く、次いで「防災、防犯、交通安全の活動」が31.5%、「自然や環境を守る活動」が29.2%となっている。



問4 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問4-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の76.8%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の64.0%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の62.2%となっている。

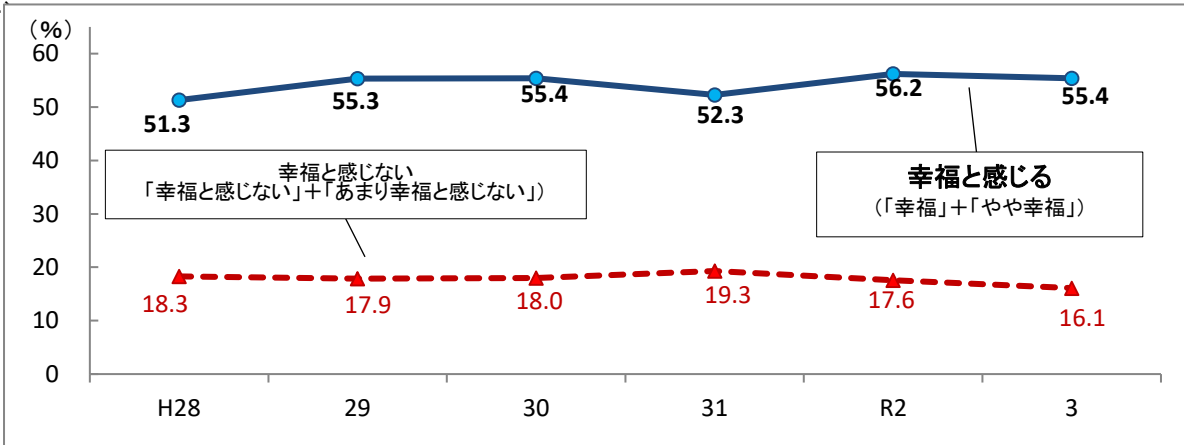


問4-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

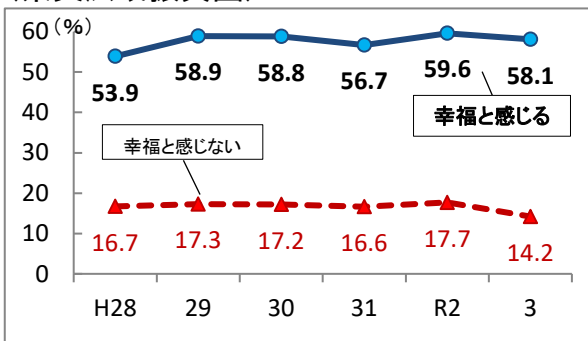
幸福と感じる割合が約55% (55.4%)、全ての広域振興圏で50%以上

- 県計では、幸福と感じる割合は55.4%となっており、前回と比較すると0.8ポイント減少している。幸福と感じない割合は16.1%となっており、前回と比較すると1.5ポイント減少している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央及び県南で減少し、沿岸及び県北では増加している。幸福と感じない割合は、県央及び沿岸で減少し、県南及び県北で増加している。

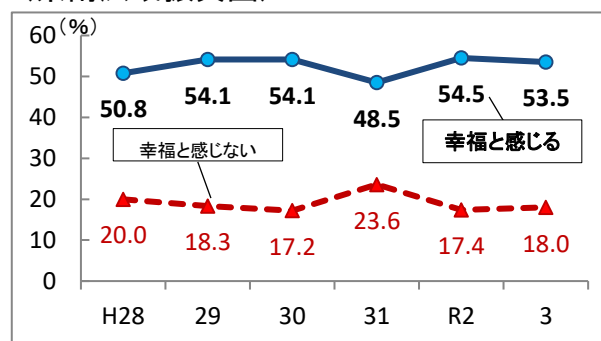
(県計)



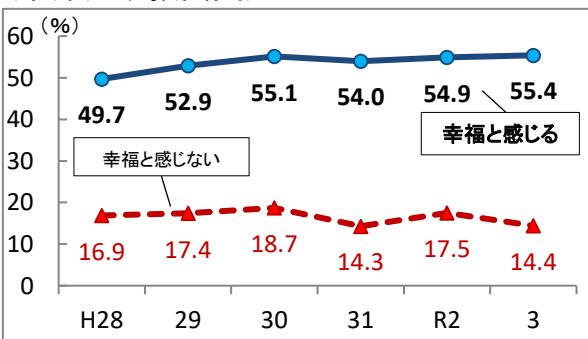
(県央広域振興圏)



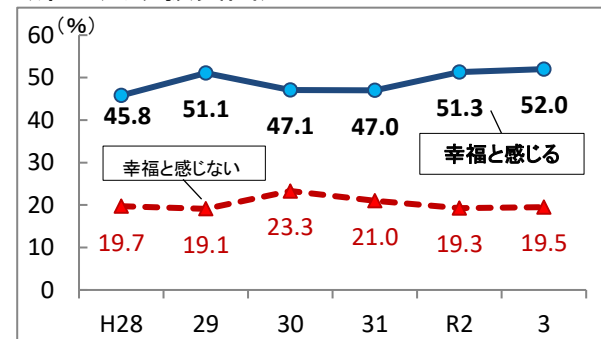
(県南広域振興圏)



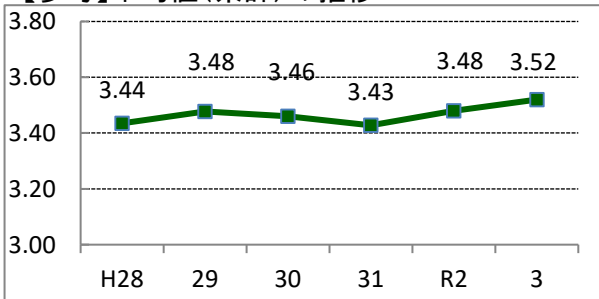
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】平均値(県計)の推移



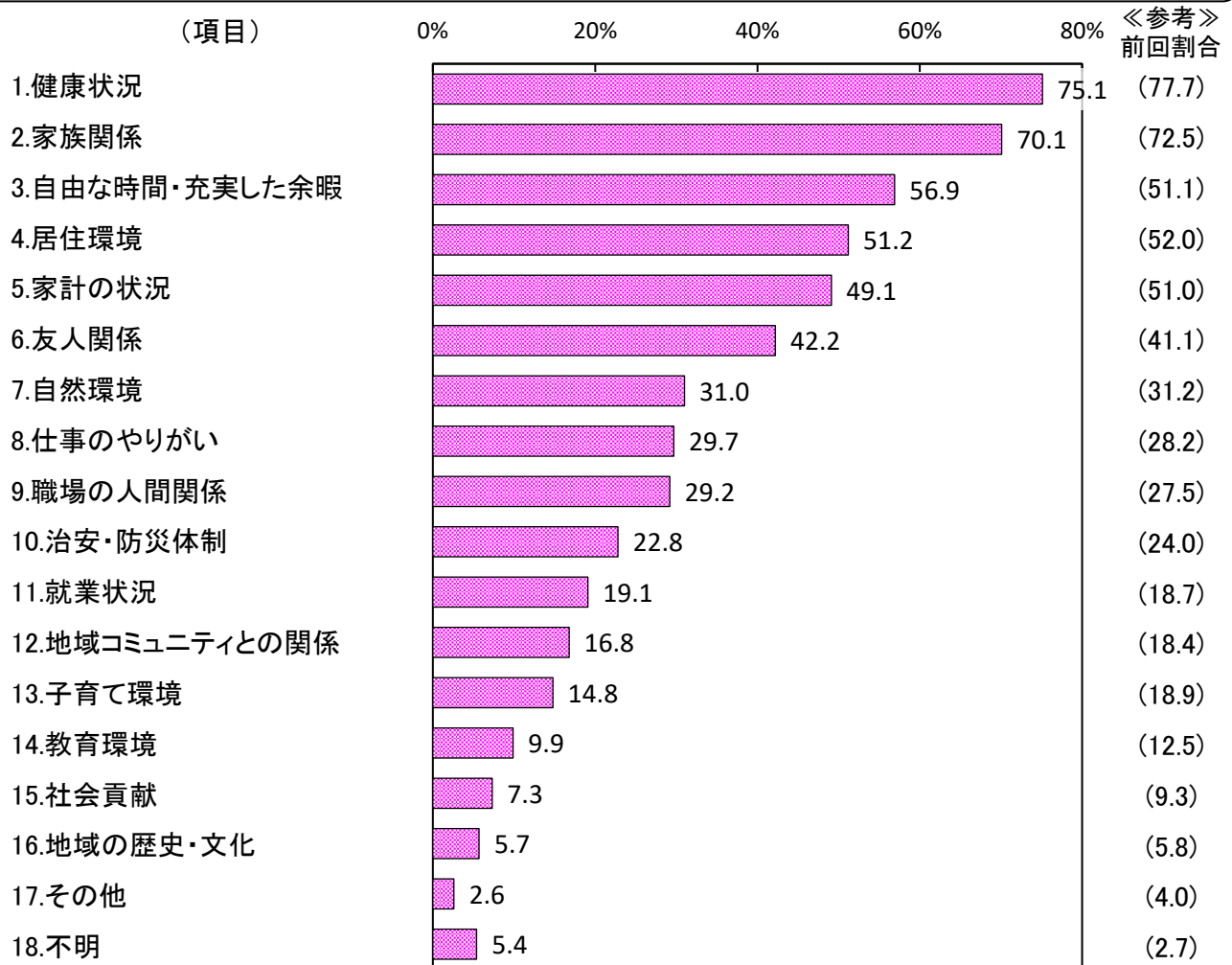
・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.52点となっている。

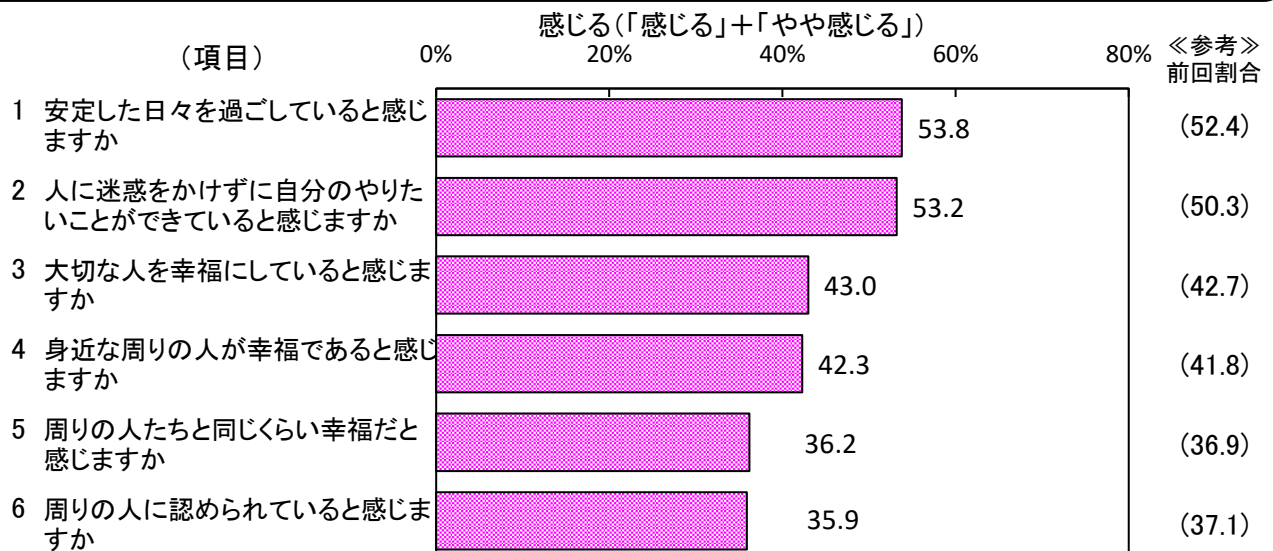
問4-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○ 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の75.1%、「家族関係」の70.1%となっている。



問4-4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

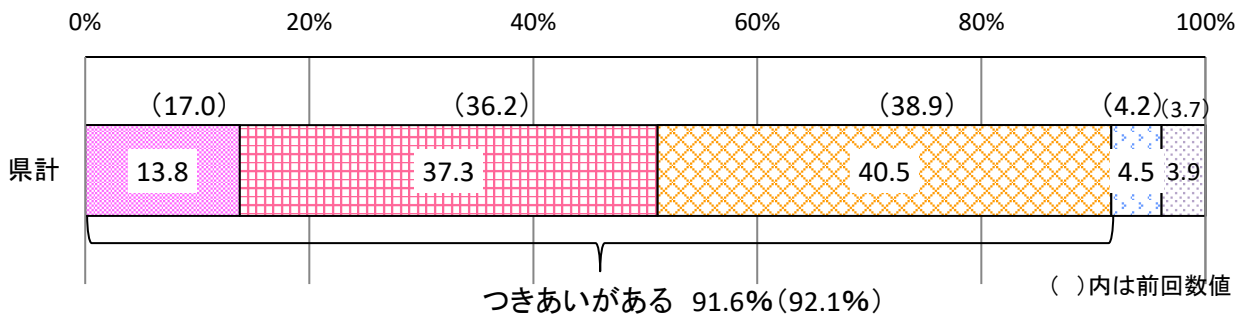
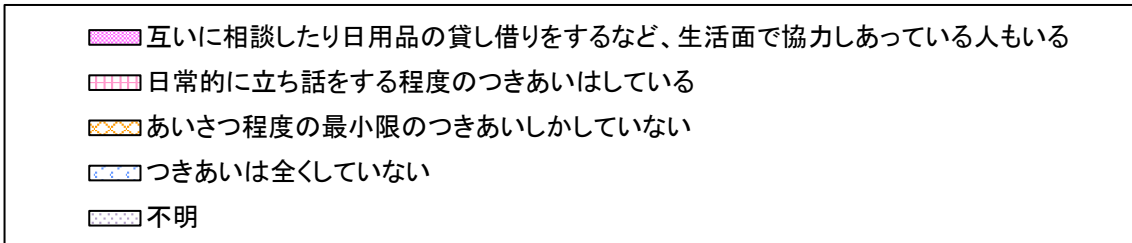
○ 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の53.8%、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の53.2%となっている。



問5 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等について伺います。

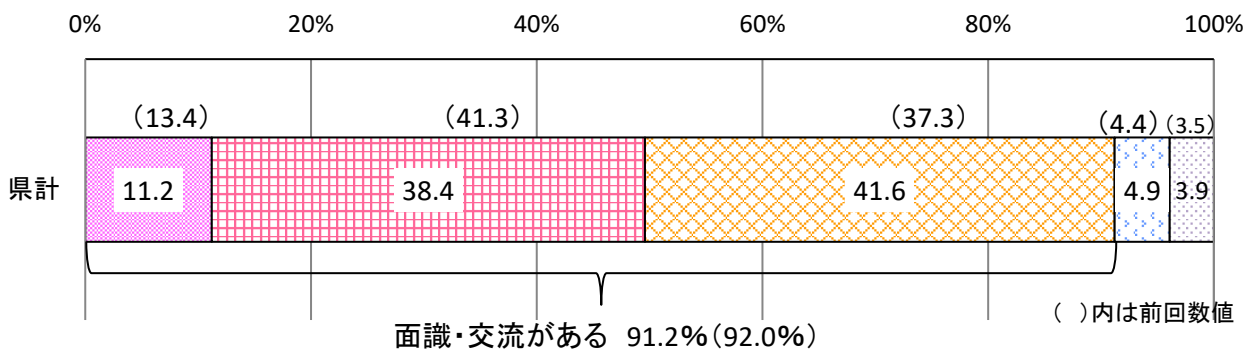
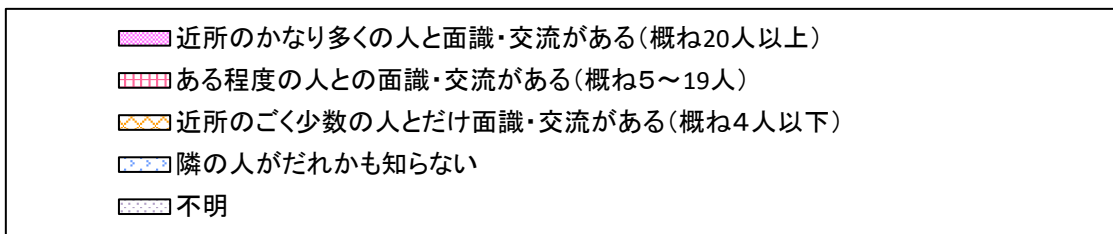
問5-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所つきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、91.6%となっている。
- 一方、「つきあいは全くしていない」は4.5%となっている。



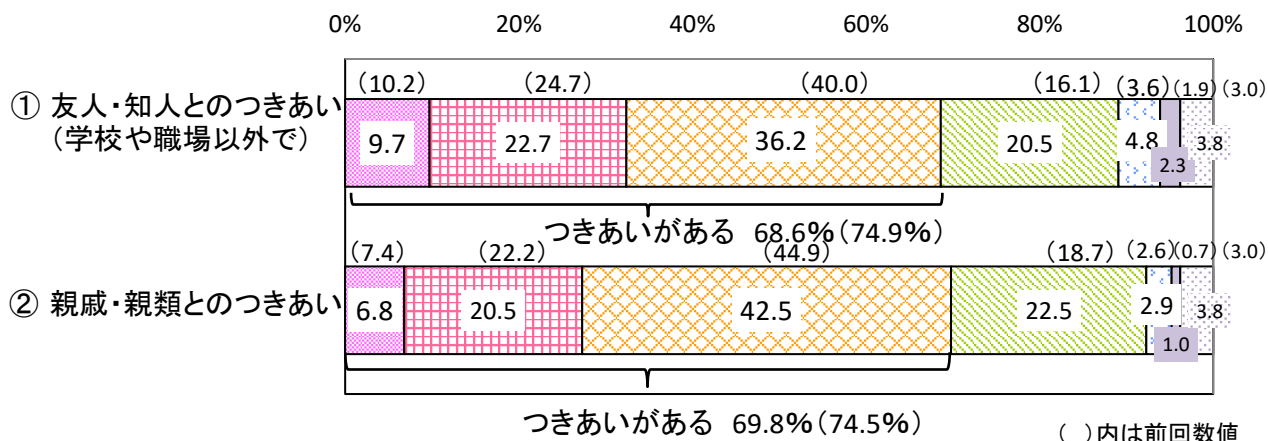
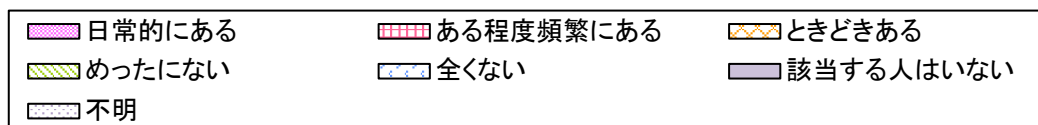
問5-2 つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

- 面識・交流がある（「近所のかかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、91.2%となっている。
- 一方、「隣の人がだれかも知らない」は4.9%となっている。



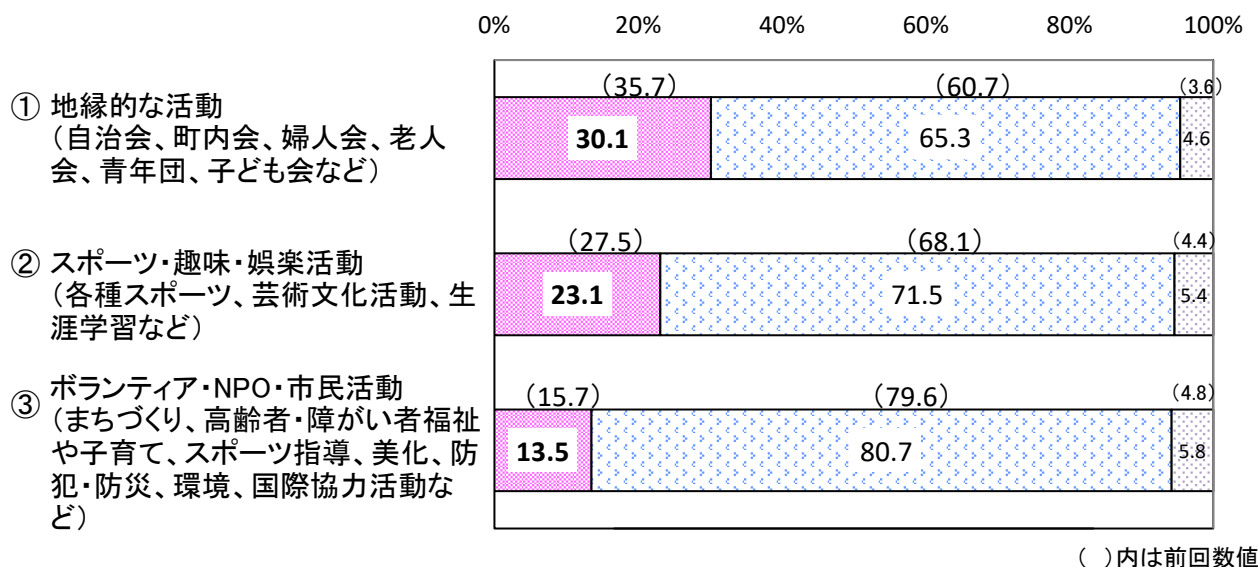
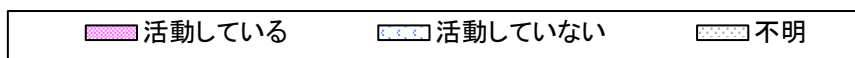
問5-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなつきあいをされていますか。

- 友人・知人等とのつきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」では68.6%、「親戚・親類」では69.8%となっている。
- 最も割合の高いつきあいの程度は、「友人・知人」では「ときどきある」の36.2%、「親戚・親類」では「ときどきある」の42.5%となっている。



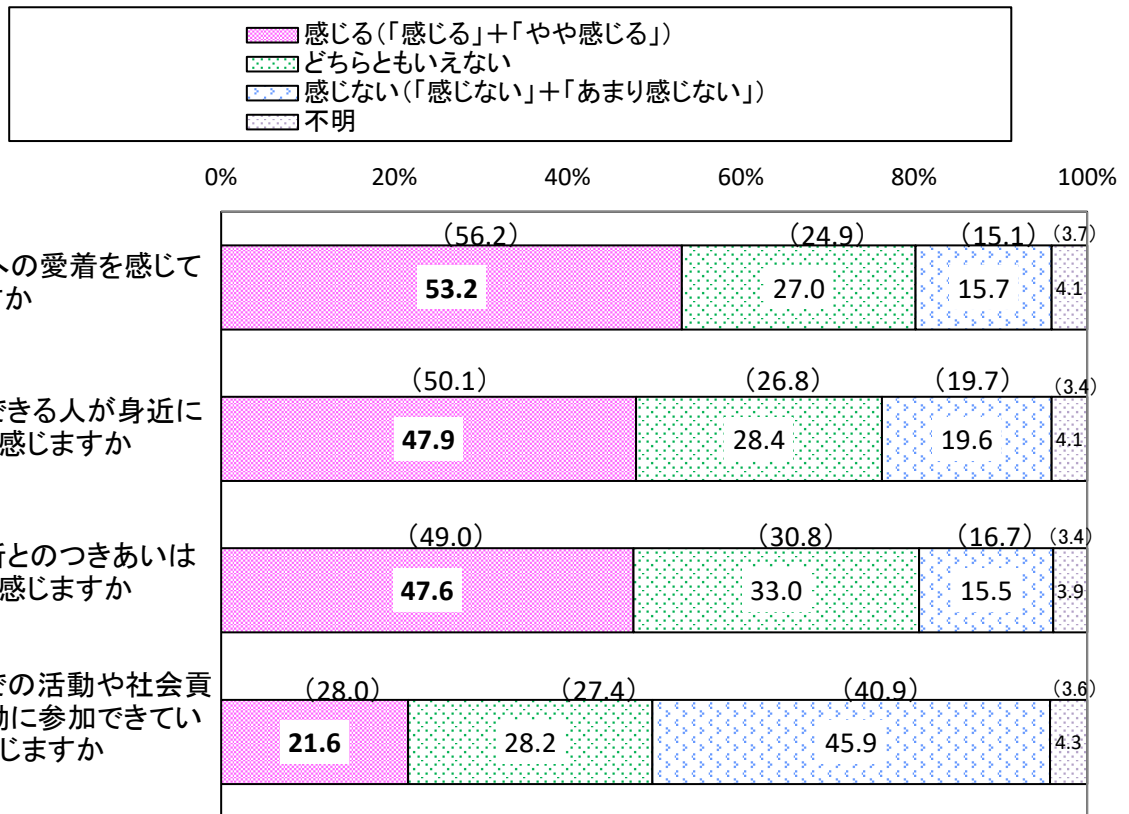
問5-4 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

- 地縁的な活動をしている人は30.1%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は23.1%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は13.5%となっている。



問5-5 あなたのお住まいの地域(小・中学校区から市町村の範囲)に対する実感をおたずねします。

○ 地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は53.2%、「信頼できる人が身近にいると感じますか」は47.9%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は47.6%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は21.6%となっている。



()内は前回数値

問6 あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

○ 分野別実感について、よくない影響を感じる(「よくない影響を感じる」+「あまりよくない影響を感じる」)割合が高いのは、「こころの健康への影響」の62.7%、「余暇の充実への影響」の60.6%、「からだの健康への影響」の56.8%となっている。

よくない影響を感じる割合

(項目)	順位 (よくない 影響を感じ る割合)	割合				
		0%	20%	40%	60%	80%
①-1 からだの健康への影響	3	56.8				
①-2 こころの健康への影響	1	62.7				
② 余暇の充実への影響	2	60.6				
③ 家族関係への影響	9	43.7				
④ 子育てへの影響	10	42.8				
⑤ 子どもの教育への影響	7	46.2				
⑥ 住まいの快適さへの影響	12	39.6				
⑦ 地域社会とのつながりへの影響	4	52.2				
⑧ お住まいの地域の安全への影響	8	44.4				
⑨ 仕事のやりがいへの影響	11	42.2				
⑩ 必要な収入や所得への影響	5	48.3				
⑪ 歴史や文化に触れる機会や場所への影響	6	48.0				
⑫ 自然の恵みを感じる機会への影響	13	39.5				

※問6は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化等に伴う、政策分野に関連する実感(分野別実感)への影響を把握するために設けた新規設問である。

分野別実感は、①心身の健康、②余暇の充実、③家族関係、④子育て、⑤子どもの教育、⑥住まいの快適さ、⑦地域社会とのつながり、⑧地域の安全、⑨仕事のやりがい、⑩必要な収入や所得、⑪歴史・文化への誇り、⑫自然の豊かさに対する実感であり、①については、「からだ」の健康と「こころ」の健康に分けて調査した。

(参考1)問2の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇 (○)	1	身体の健康に関する相談・指導	3.707	53	3.228	10	0.479	55
	2	心の健康に関する相談・支援	3.733	51	3.108	19	0.626	52
	3	適切な医療体制	4.663	4	3.372	4	1.292	29
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.433	19	3.037	28	1.397	20
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.276	57	2.963	35	0.313	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.407	55	2.959	36	0.448	56
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.888	47	2.917	39	0.971	42
②家族・子育て (●)	8	安心な子育て環境整備	4.466	16	3.045	25	1.420	18
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.318	29	3.201	13	1.117	37
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.137	37	3.099	21	1.038	40
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.486	15	2.918	38	1.567	10
	12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	4.020	42	3.186	14	0.834	47
③教育 (△)	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.429	20	3.108	18	1.321	26
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.586	7	3.131	17	1.455	16
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.405	23	3.222	12	1.183	33
	16	全ての子どもが学べる環境	4.442	18	3.053	24	1.389	21
	17	いじめや不登校への適切な対処	4.605	6	2.737	50	1.868	4
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.565	10	3.249	8	1.316	27
	19	特色ある私学教育の充実	3.766	50	3.037	27	0.729	49
	20	次世代を担う人材育成	4.279	30	2.978	34	1.301	28
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	3.930	44	3.374	3	0.556	53
	22	大学の地域社会貢献	4.142	36	3.102	20	1.040	39
④居住環境・コミュニティ (▲)	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.488	14	2.681	51	1.807	6
	24	公共交通機関の維持・確保	4.388	25	2.624	53	1.765	7
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.908	46	2.997	32	0.911	44
	26	移住・定住を増やすための取組	3.870	48	2.759	49	1.112	38
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.634	54	2.890	40	0.744	48
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.721	52	3.015	30	0.706	51
⑤安全 (◇)	29	地域の協力による防災体制づくり	4.398	24	3.272	5	1.126	36
	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.686	3	3.252	7	1.434	17
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.713	2	3.180	15	1.533	12
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.568	9	3.030	29	1.538	11
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.542	11	3.386	1	1.156	35
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.735	1	2.778	47	1.957	2
⑥仕事・収入 (◆)	35	安定した就職環境	4.537	12	2.438	55	2.099	1
	36	商店街のにぎわい	4.241	32	2.378	57	1.862	5
	37	中小企業の活発な事業展開	4.200	34	2.676	52	1.524	13
	38	県内経済の活性化	4.319	27	2.621	54	1.697	8
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.214	33	2.992	33	1.222	31
	40	海外での県産品の販路拡大	3.839	49	2.885	41	0.953	43
	41	魅力ある観光地づくり	4.076	41	2.820	44	1.256	30
	42	農林水産業の担い手確保	4.320	26	2.434	56	1.886	3
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.128	38	2.793	46	1.335	24
	44	農林水産物の販路拡大	4.252	31	2.880	42	1.372	23
⑦歴史・文化 (□)	45	活力ある農山漁村の形成	4.149	35	2.763	48	1.386	22
	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	3.980	43	3.268	6	0.711	50
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.076	40	3.178	16	0.898	45
⑧自然環境 (■)	48	自然環境を大切に生活	4.576	8	3.241	9	1.335	25
	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.531	13	3.375	2	1.156	34
	50	温暖化防止の取組	4.456	17	2.939	37	1.517	14
⑨社会基盤 (*)	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.399	56	2.852	43	0.547	54
	52	情報通信技術の活用	4.092	39	3.081	23	1.011	41
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.650	5	3.040	26	1.610	9
	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.429	21	3.222	11	1.206	32
	55	社会資本の維持管理	4.423	22	3.011	31	1.412	19
⑩参画 (+)	56	個性と能力を發揮できる社会の実現	4.318	28	2.810	45	1.509	15
	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.929	45	3.083	22	0.846	46
平均			4.219		2.994		1.225	

注)重要度(平均)、満足度(平均)は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

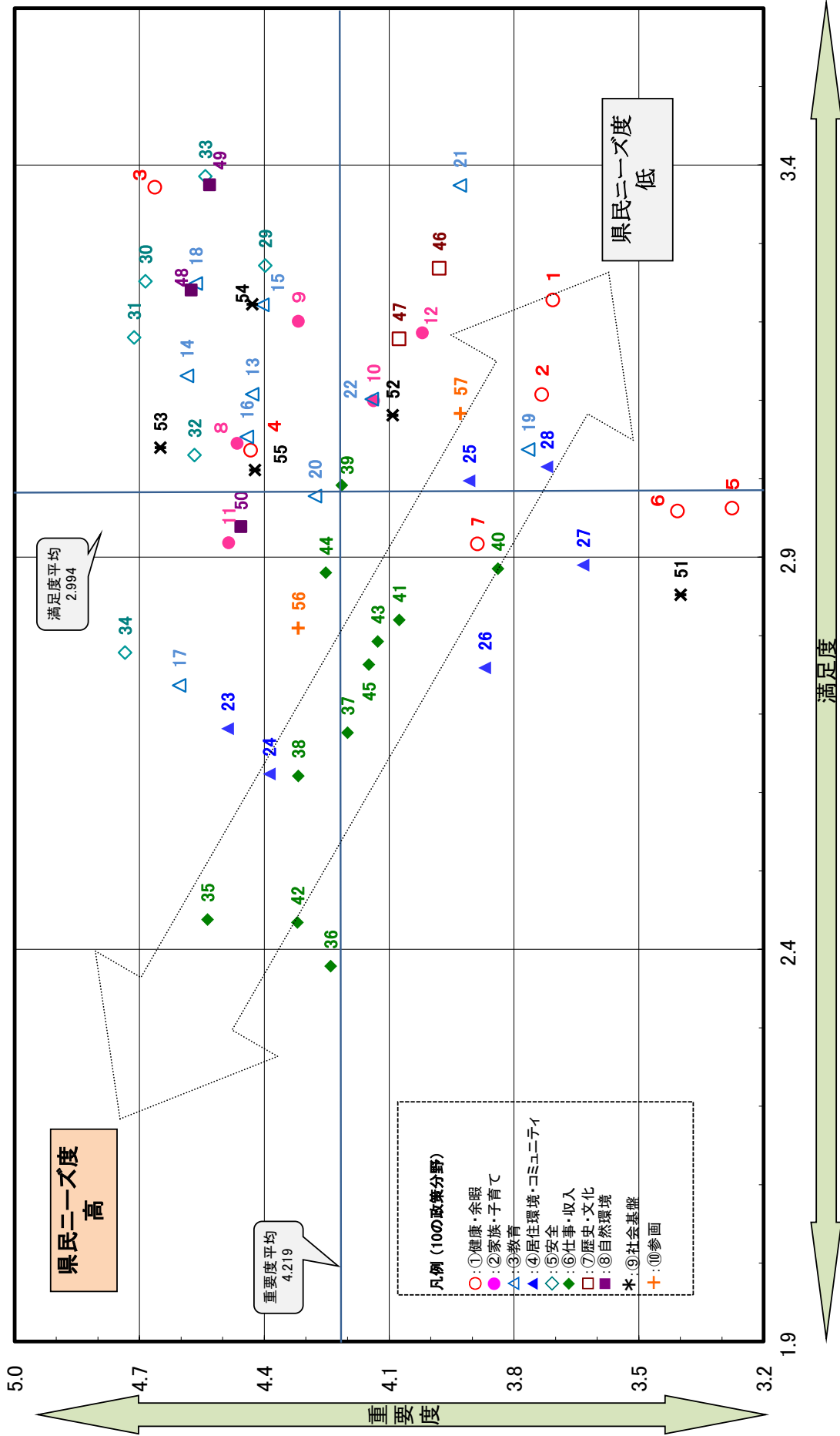
〔用語の説明〕

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度：重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考2)問2の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ー は各項目の平均値(重要度:4.219、満足度:2.994)

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)		(参考) 上段:重要度 下段:満足度			
		1	2	0	1	2	3
35	安定した就職環境		2.099			2.438	4.537
34	感染症に対する備えが整っている社会		1.957			2.778	4.735
42	農林水産業の担い手確保		1.886			2.434	4.320
17	いじめや不登校への適切な対処		1.868			2.737	4.605
36	商店街のにぎわい		1.862			2.378	4.241
23	生活基盤整備などが進んだ生活環境		1.807			2.681	4.488
24	公共交通機関の維持・確保		1.765			2.624	4.388
38	県内経済の活性化		1.697			2.621	4.319
53	災害に強く安心して暮らせる県土		1.610			3.040	4.650
11	仕事と生活を両立できる環境		1.567			2.918	4.486
32	消費者トラブルへの適切な相談や支援		1.538			3.030	4.568
31	交通事故の少ない社会づくり		1.533			3.180	4.713
37	中小企業の活発な事業展開		1.524			2.676	4.200
50	温暖化防止の取組		1.517			2.939	4.456
56	個性と能力を発揮できる社会の実現		1.509			2.810	4.318
14	人間性豊かな子どもの育成		1.455			3.131	4.586
30	犯罪への不安の少ない社会づくり		1.434			3.252	4.686
8	安心な子育て環境整備		1.420			3.045	4.466
55	社会資本の維持管理		1.412			3.011	4.423
4	住み慣れた地域で生活できる環境		1.397			3.037	4.433
16	全ての子どもが学べる環境		1.389			3.053	4.442
45	活力ある農山漁村の形成		1.386			2.763	4.149
44	農林水産物の販路拡大		1.372			2.880	4.252
43	ニーズにあった農林水産物の産地形成		1.335			2.793	4.128
48	自然環境を大切にしたい生活		1.335			3.241	4.576
13	子どもの学力向上に向けた教育		1.321			3.108	4.429
18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境		1.316			3.249	4.565
20	次世代を担う人材育成		1.301			2.978	4.279
3	適切な医療体制		1.292			3.372	4.663
41	魅力ある観光地づくり		1.256			2.820	4.076
39	地域資源を活用した製品開発・販売		1.222			2.992	4.214
54	交通や物流の拠点に通じる道路整備		1.206			3.222	4.429
15	子どもの体力向上や心身の健康保持		1.183			3.222	4.405
49	ごみ減量やリサイクルの定着		1.156			3.375	4.531
33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境		1.156			3.386	4.542
29	地域の協力による防災体制づくり		1.126			3.274	4.398
9	子どもの育ちと学びに関する学校・家庭・地域の連携		1.117			3.201	4.318
26	移住・定住を増やすための取組		1.112			2.759	3.870
22	大学の地域社会貢献		1.040			3.102	4.142
10	地域全体での青少年の健全育成		1.038			3.099	4.137
52	情報通信技術の活用		1.011			3.081	4.092
7	自分に適した内容や方法で学べる環境		0.971			2.917	3.888
40	海外での県産品の販路拡大		0.953			2.885	3.839
25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ		0.911			2.997	3.908
47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境		0.898			3.178	4.076
57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会		0.846			3.083	3.929
12	ペットなど動物のいのちを大切にしたい社会		0.834			3.186	4.020
27	外国人も暮らしやすい社会		0.744			2.890	3.634
19	特色ある私学教育の充実		0.729			3.037	3.766
46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組		0.711			3.268	3.980
28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり		0.706			3.015	3.721
2	心の健康に関する相談・支援		0.626			3.108	3.733
21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍		0.556			3.374	3.930
51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組		0.547			2.852	3.399
1	身体の健康に関する相談・指導		0.479			3.228	3.707
6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会		0.448			2.959	3.407
5	日常的に文化芸術に親しむ機会		0.313			3.276	2.963